

第263回 番組審議会

1. 日 時 平成29年6月13日(火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 9名
出席委員数 7名(欠席委員数 2名)

○ 出席委員(敬称略)

鈴木 厚人(委員長)
九萬原 敏巳(副委員長)
—以下50音順—
石田 征広
加藤 裕一
久慈 浩介
升田 久美子
八木橋 伸之

○ 会社側出席者(8名)

藤澤 利憲 (代表取締役社長)
小原 忍 (取締役副社長)
藤原 銀司 (常務取締役)
前田 秀男 (取締役技術局長)
工藤 浩 (取締役東京支社長)
高嶋 昇 (取締役営業編成局長)
菊地 十郎 (報道制作部長)
鎌田 淑子 (報道制作部制作班)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 『FNSドキュメンタリー大賞 あっぱれ！盛岡文士劇
盛岡文士劇念願の東京公演に密着』
平成29年5月28日（日）13：00～13：55

5. 議事概要

今回は、5月28日放送の「FNSドキュメンタリー大賞 あっぱれ！盛岡文士劇 盛岡文士劇念願の東京公演に密着」を審議しました。議事の概要は、以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ報道制作部長 菊地プロデューサーからの説明

・「FNSドキュメンタリー大賞」は、フジテレビ系列28局が制作能力の向上を目的に毎年1時間のドキュメンタリー番組を制作し、出品しているもの。東日本大震災後は、震災からの復興の歩みを伝える内容で、去年は、矢巾町で起こった中学生のいじめ自殺を取り上げた番組を制作した。今回は、これまでとは違ったものを作りたいと思い盛岡文士劇の東京公演を取り上げた。

・取材には、いろいろな制約があり、特に肝心の東京公演にカメラを入れてはいけないといわれ苦労した。ディレクターの鎌田が、事務局や紀伊國屋ホールの方々を説得し、山あり谷ありの状況で制作した。主役の義経役をめんこいテレビの米澤かおりアナウンサーが演じるということで、手前味噌の番組にならないようにという懸念もあった。

●岩手めんこいテレビ報道制作部 鎌田ディレクターからの説明

・盛岡文士劇についてはあまり知識がなく、毎年冬に盛岡で上演されている舞台で、とても人気がありチケットはすぐに完売。有名な作家や各局のアナウンサーが出演しているといった程度だった。取材を始めるまで敷居が高く、入りにくさを感じていた。

・一番のポイントは、誰を番組の主人公にするかという点。初めて演出をする長掛憲司さんとは、話をする機会も多く心を開いてくださったので、長掛さんを主人公に決めた。映像も思うように撮れず見苦しい点があったと思うが、聞き取り難さを緩和するため要所にテロップを入れた。全国放送に方言はそぐわないと思ったが、盛岡の大切な文化、方言を全国に発信できたらと思いナレーションを方言にしてチャレンジした。

●出席した委員からの意見

- ・主人公の演出家長掛憲司さんが1人で悩んでいる姿などをうまく撮っているなど思った。
- ・舞台裏を知るという意味では取材も濃く、バラエティに富んで分りやすく良かった。
- ・ナレーションの方言が良かった。
- ・盛りだくさん過ぎて、見た後に統一したテーマがなく、突っ込めるような感想が持てなかった。
- ・全体的に舞台上で演じている文士たち皆さんが楽しんでいる様子が伝わってきて良かった。
- ・内館牧子さんの「地方でいいことをやっても知ってもらうには東京が必要だ」という言葉は、非常に重いと感じた。
- ・盛岡文士劇は、岩手の人たちに楽しみを与える場だと感じた。これが東京に行く意味をもう少し掘り下げればよかった。
- ・東京公演が成功なのか、半端だったのかを考えさせる内容にすればよかったのではないかな。
- ・東京公演でどんな反応だったのか。どんな人が見に来て、どんなところに興味を持ったのか等を会場に来た人にインタビューして紹介して欲しかった。
- ・盛岡文士劇が何なのか、その歴史、舞台裏を知ることができて、いち視聴者としてとても良かった。
- ・東京公演をやる意義を観客の声でもいいし、どんな人が見たかという話など、その評価を何らかの形で入れると良かったと思う。
- ・全く盛岡や岩手を知らない人が外から来た時に「盛岡や岩手はこういうところだ」ということが番組の中に全部入っていた。「ここは優しいし、温かいし」

ということが感じられた。

・岩手、盛岡をアピールするには、こんな良い番組はないのではないか。大きなPRになると思う。特に県外の人にとっては心にドンとくるような番組だった。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成29年6月14日(水) 産経新聞 東北版

※平成29年6月24日(土) 午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ番審リポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし

※次回は、平成29年7月11日(火)12時より当会場にて開催予定です。